



平成 21 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 エ リ ア リ ン ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 林 尚 道
(コード番号 8914 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 池 口 孝
TEL 03 - 5577 - 9222

(訂正)「平成 20 年 12 月期決算短信(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 23 日付で公表いたしました「平成 20 年 12 月期決算短信(連結)」の記載事項の一部に誤りがありましたので下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正箇所

【平成 20 年 12 月期決算短信(連結)】6～7 ページ 「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」

2. 訂正内容

(訂正前)

当社グループ自ら不動産を所有することのリスクについて

当社グループが自ら不動産を所有するにあたっては、()希少価値のある物件である、()ネット利回り平均 10%以上、()即収入が見込める物件、()空室ができて当社不動産運用サービス事業のノウハウで効率運用が見込める物件、といった観点で物件を厳選したうえで投資を行っております。また、投資資金を借入で調達する場合、一定の条件(現在、固定金利 3%未満、10 年返済)を満たすこととしております。

しかしながら、当社グループの潜在需要の見通しが十分ではなかったり、また予見が困難な外部環境の変化により需要が減少する場合、あるいは周辺の賃料相場及び不動産価格相場が急激に変動した場合等には、当社グループの業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(訂正後)

当社グループ自ら不動産を所有することのリスクについて

当社グループが自ら不動産を所有するにあたっては、()希少価値のある物件である、()ネット利回り平均 10%以上、()即収入が見込める物件、()空室ができて当社不動産運用サービス事業のノウハウで効率運用が見込める物件、といった観点で物件を厳選したうえで投資を行っております。また、投資資金を借入で調達する場合、投資の期間に応じた調達を行い、必要に応じて固定金利での調達や金利スワップ等による金利の固定化を実施することで金利上昇リスクの回避に努めております。

しかしながら、当社グループの潜在需要の見通しが十分ではなかったり、また予見が困難な外部環境の変化により需要が減少する場合、あるいは周辺の賃料相場及び不動産価格相場が急激に変動した場合等には、当社グループの業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

以 上